



茨城県

# いばらきの 海岸植物

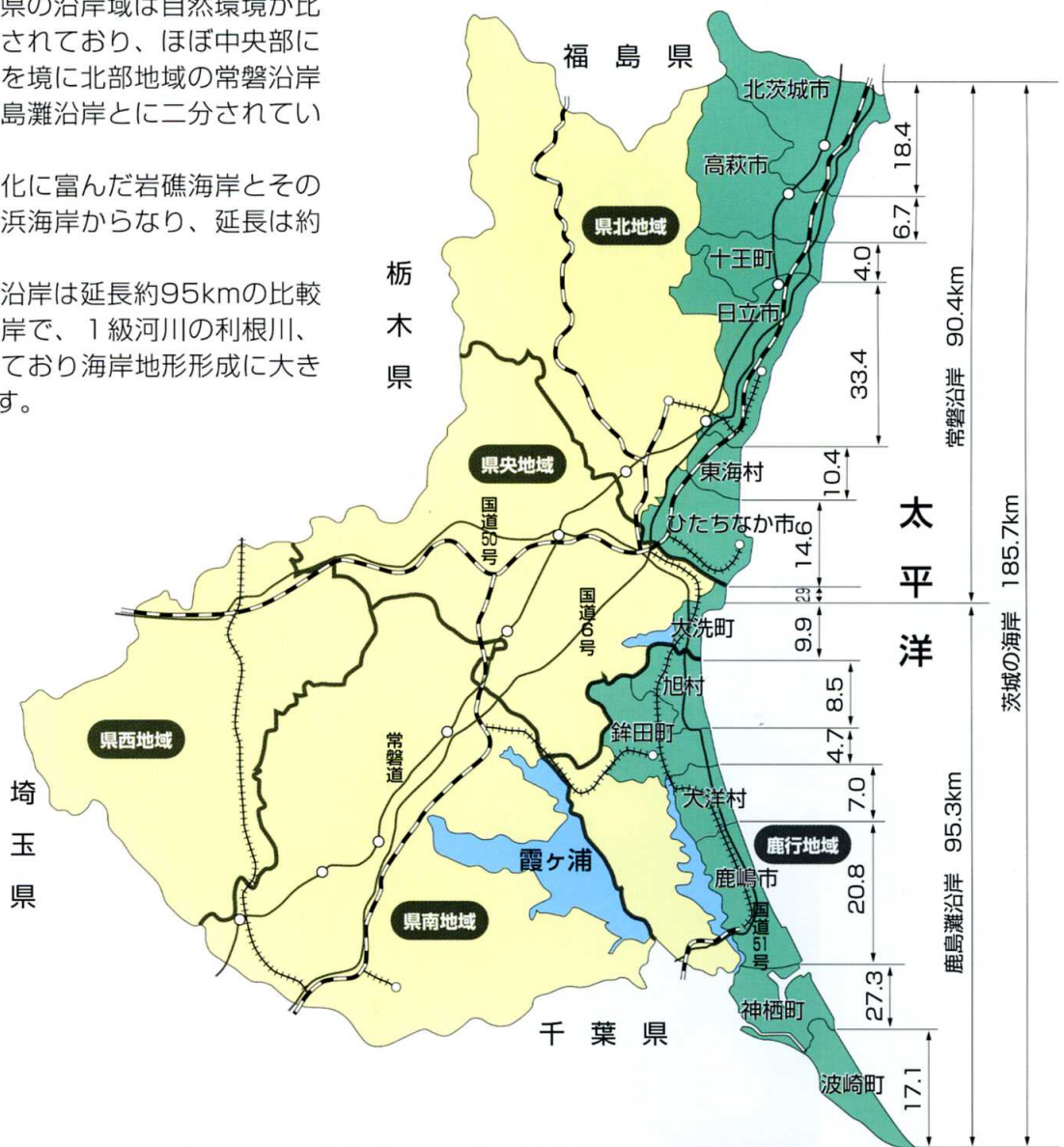


# 海岸の概要

茨城県の海岸は太平洋に面しほぼ南北方向に伸び、延長約186kmの単調な形状をしています。本県の沿岸域は自然環境が比較的良好に維持されており、ほぼ中央部に位置する大洗岬を境に北部地域の常磐沿岸と南部地域の鹿島灘沿岸とに二分されています。

常磐沿岸は変化に富んだ岩礁海岸とその間に点在する砂浜海岸からなり、延長は約90kmです。

また、鹿島灘沿岸は延長約95kmの比較的遠浅な砂浜海岸で、1級河川の利根川、那珂川が流入しており海岸地形形成に大きく寄与しています。



## INDEX

- 1 海岸の植物
- 2 みどころ地図 (常磐沿岸)
- 4 みどころ地図 (鹿島灘沿岸)
- 6 観察ガイド
- 7~9 砂浜の植物
- 10~11 崖地の植物
- 12~13 砂浜・崖地背後の植物
- 14 貴重な植物
- 15 生育する主な海岸と開花グラフ
- 16 海岸防災林の整備
- 17 海岸法の改正

写真  
表紙 ハマヒルガオ 飯島昌寿  
P.1 砂防の丘 稲葉 学  
P.17 ウミガメ 根本正彦  
P.7~14のハマヒルガオ  
ハマエンドウ・ツワブキ 鈴木恒治  
ハマギク・ハイネズ  
ハマナシ

みどころ地図の出典：  
茨城県高萩土木事務所、他（平成8年）：海岸植生現況基礎調査報告書  
監修：自然公園指導員 鈴木恒治 茨城生物の会会員 佐藤新司

### いばらきの海岸植物は人々に潤いを与えてくれます。

温暖な黒潮と寒冷な親潮がぶつかり合う茨城県の海洋は豊かで多様な生物に恵まれています。このような海象条件は気候にも大きな影響を与え、茨城県の海岸植物は特徴のある構成となっています。黒潮によって北上してきた暖地性の植物と、親潮によって南下してきた寒地性の植物が茨城県の海岸をそれぞれの分布の北限、南限にしています。また、海岸の植物は砂浜に生育するものと崖地に生育するものに大別でき、海食崖の発達した常磐沿岸と砂浜からなる鹿島灘沿岸ではそれぞれ特有の植物を見ることができます。

これらの植物の中には天然記念物に指定されているものや特定植物群落に選定されているものなどがあり、貴重な植物や珍しい植物も見ることができます。そして美しい花や緑に彩られた景観は人々に大きな潤いを与えてくれます。

茨城県では、海岸保全に努めていますが、海岸植物をこれからも守っていくためには私たち一人ひとりが植物について知ることが大切です。このパンフレットでは茨城県の代表的な海岸植物を紹介していますので、海へ出かけるときにはこれを参考に植物を観察してみてください。

※特定植物群落とは「比較的ふつうに見られるものであっても南限や北限に分布している植物群落」、「郷土景観を代表する植物群落で、その特徴が典型的なもの」などの理由から、環境庁によって選定された植物群落のことです。



小貝浜海岸（日立市）



にっかわ  
日川海岸  
がみす  
(神栖町)